

第3期 東広島市教育振興基本計画 概要

基本理念 主体的に学び続け、ともに支え合い、豊かな人生を切り拓く「東広島教育」の創造

多様性を尊重し、学びを通じた人々の「つながり」や「かかわり」を大切にしながら、子供たちだけでなく、教職員をはじめ教育に携わる誰もが夢や志をもって成長できる教育環境を整備することにより、市民一人一人が、主体的に学び続け、ともに支え合い、豊かな人生を切り拓く「東広島教育」を創造していきます。

1 計画策定の趣旨

現状と課題、現在の社会情勢等を踏まえた上で、本市の豊かな自然環境や歴史・文化遺産、大学をはじめとする多くの学術研究機関や豊富な人材を生かした本市ならではの施策をより一層推進し、今後5年間に取り組む本市の教育施策の方向性を示すため、本計画を策定します。

2 策定の視点

これまでの計画の取組を踏まえつつ、教育のICT化、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念、人口減少という近年の課題等に対処するため、第3期計画では、次の3つを新たな視点として、本市の教育環境を取り巻く課題に対応するための施策を展開していきます。

新たな視点

DXの推進

- ▶ 多様性のある学習環境や専門性の高い授業、端末を効果的に活用した授業の実現
- ▶ 学びの地域格差の解消

地域共生

- ▶ 地域の人的・物的資源の活用
- ▶ 地域とともにある学校づくり
- ▶ 地域のつながりづくり

過疎化・少子化

- ▶ 小規模校のメリットの最大化・デメリットの最小化
- ▶ 多様な学びができる魅力ある学校づくり・地域づくり

3 計画の位置付け

国の第4期教育振興基本計画を参考にするとともに、本市の最上位計画である「第五次東広島市総合計画」や関連する他の個別計画との整合・連携を図りながら、教育行政における総合計画とします。

4 計画期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

5 計画の推進と進捗管理

教育施策を効果的かつ着実に進めるために、PDCAサイクルに基づき、計画的に実施するとともに、毎年度、点検・評価を行い、施策に反映させます。また、進捗管理の状況については、市民への周知を図ります。

基本方針と主要事業(新規・拡充の取組等)

基本方針1

「生きる力」を育み、一人一人の多様な個性・能力を伸ばす教育の推進

主要事業1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

- ▶ ICT環境を最大限活用した個別最適な学び、探究的な学習の充実等による協働的な学びの一体的推進

主要事業4 命を大切にする教育の推進

- ▶ 児童生徒の発達を支える生徒指導など、安全で安心な学級づくりの推進

基本方針2

全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

主要事業10 不登校児童生徒への支援の推進

- ▶ 個々の実態に応じた支援の充実と教育機会の確保、SSR等による支援体制の充実

主要事業14 小中一貫・小規模校の教育の充実

- ▶ 地域資源を活用した探究的な学びや单元内自由進度学習による個別最適な学び、ICTを活用した遠隔授業による協働的な学びなど、特色ある教育課程の充実

基本方針3

学校、家庭、地域や企業等の連携・協働による社会総がかりでの教育の推進

主要事業15 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- ▶ 学校・家庭・地域の連携による学校づくり・地域づくりの推進、地域と学校をつなぐコーディネーターの育成

主要事業18 地域課題・現代的課題の解決につながる学習機会の充実

- ▶ 地域を取り巻く問題の解決に向けて行う地域特性を生かした市民の主体的な取組の推進

基本方針4

生涯学び、活躍できる環境の整備と学びを通じたまちづくりの推進

主要事業24 生涯学習施設の適正配置と効率的・効果的な運営

- ▶ 施設の聖地化・既存施設の特徴化、公立ホールの特徴化、図書館の特徴化

基本方針5

教育DXを含めた安全・安心で充実した教育活動を行うための基盤整備の推進

主要事業27 働き方改革の更なる推進

- ▶ 校務DXの推進、仕事と生活の両立ができる職場環境の確保

施策体系

基本理念	基本方針		施策	主要事業	成果指標・目標値		
主体的に学び続け、ともに支え合い、豊かな人生を切り拓く「東広島教育」の創造	基本方針1 「生きる力」を育み、一人一人の多様な個性・能力を伸ばす教育の推進	基本方針2	1 確かな学力の育成	1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 2 外国語教育の充実 3 幼児教育・保育の質の向上	「主体的・対話的に学習活動に取り組んだ」と回答した児童生徒の割合（※1）	小学校 76.0%	中学校 77.0%
	基本方針2 全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進		2 豊かな心の育成	4 命を大切にする教育の推進 5 青少年の健全育成 6 学校と地域における体験活動・交流活動の充実	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童生徒の割合	小学校 10.0%	中学校 18.0%
			3 健やかな体の育成	7 主体的にスポーツを楽しむ児童生徒の育成 8 学校体育、学校保健、学校給食・食育の充実	「自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか」において「よくしている」又は「どちらかといえば、している」と回答した学校の割合（※2）	小学校 100%	中学校 100%
			4 個に応じたきめ細かな支援	9 特別支援教育の推進 10 不登校児童生徒への支援の推進 11 日本語教育の充実 12 様々な家庭環境にある児童生徒への支援	「自分には、よいところがあると思いますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（※3）	小学校 100%	中学校 100%
					「将来の夢や目標をもっていますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（※3）	小学校 100%	中学校 100%
	青少年期の生涯学習パスポートのうち、まなぶちゃんノートの奨励者（既定の利活用数を記録できた者をいう。）達成率	40.0%					
	基本方針3 学校、家庭、地域や企業等の連携・協働による社会総がかりでの教育の推進	基本方針3	5 魅力ある学校づくりの推進	13 特色ある教育活動の充実 14 小中一貫・小規模校の教育の充実	「学校の体育の授業以外で、1日およそどのくらいの時間運動やスポーツをしていますか」において1日当たり1時間以上と回答した児童の割合（※4）	小学校 男子55.0%	女子31.0%
					「朝食を毎日食べていますか」において、「している」又は「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒の割合（※3）	小学校 100%	中学校 100%
					「中学校に進んだら、授業以外でも（中学校を卒業した後、）自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか」において「思う」又は「やや思う」と回答した児童生徒の割合（※4）	小学校 男子90.0%以上 中学校 男子90.0%以上	女子90.0%以上 女子90.0%以上
					「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（※3）	小学校 100%	中学校 100%
	基本方針4 生涯学び、活躍できる環境の整備と学びを通じたまちづくりの推進	基本方針4	6 学校、家庭、地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	15 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 16 家庭教育支援の充実 17 部活動の地域展開の推進	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（※3）	小学校 100%	中学校 100%
「学校へ行くのは楽しいと思いますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（※3）					小学校 100%	中学校 100%	
「学校は働きがいがあると思いますか」において「よく当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した教職員の割合（※5）					小学校 100%	中学校 100%	
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（※3）					小学校 88.0%	中学校 81.0%	
基本方針5 教育DXを含めた安全・安心で充実した教育活動を行うための基盤整備の推進	基本方針5	7 豊かな学びの推進	18 地域課題・現代的課題の解決につながる学習機会の充実 19 スポーツの魅力づくりと地域への普及促進 20 文化芸術に触れる機会の提供と地域活動・創造活動の支援 21 青少年の学習意欲の向上と主体的な学びの支援	親プロやブックデビューなどのファシリテーターの登録者のうち、年1回以上活動している人の割合	15.0%		
				「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の仕組みを生かして、保護者や地域との協働による活動を行いましたか」において、「よく行った」又は「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合（※2）	小学校 75.0%	中学校 65.0%	
				地域課題の解決に向けた講座の占める割合	20.0%		
				週に1日以上スポーツする人の割合	70.0%		
基本方針5 教育DXを含めた安全・安心で充実した教育活動を行うための基盤整備の推進	基本方針5	8 学びを通じたつながりの形成	22 学習成果を発表する機会の提供 23 人とのつながりを創出する人材の育成	芸術施設（くらら、美術館）の若年層の年間利用者数	41,000人		
				青少年が関わった地域活動の年間実施数	8回		
				生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	750団体		
				コミュニティ健康運動パートナーやスポーツ推進委員の年間活動実績数	800回		
基本方針5 教育DXを含めた安全・安心で充実した教育活動を行うための基盤整備の推進	基本方針5	9 学びを支える環境づくり	24 生涯学習施設の適正配置と効率的・効果的な運営 25 生涯学習推進体制の強化と障がい者の生涯学習の推進	どこでも美術館・どこでも博物館、ユニークベニュー等により地域の文化芸術をつなげる事業の年間実施数	57回		
				異年齢交流・体験活動の年間実施数	20回		
				公立ホール（市民文化センター及び生涯学習センター（3施設）のホールをいう。）の利用者満足度	98.0%		
				スポーツ施設の利用者満足度	90.0%		
基本方針5 教育DXを含めた安全・安心で充実した教育活動を行うための基盤整備の推進	基本方針5	10 教育DXの推進	26 1人1台端末の活用 27 働き方改革の更なる推進 28 地域の学びのDXの推進	博物館等施設の利用者満足度	90.0%		
				青少年施設（東広島市第1・第2児童青少年センターをいう。）の利用者数	52,000人		
				学校における教育の情報化の実態等に関する調査（授業にICTを活用して指導する能力）において「できる」「ややできる」と回答した教員の割合	90.0%		
				「PC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用したか」において「ほぼ毎日」又は「週3回以上」と回答した学校の割合（※2）	小学校 100%	中学校 100%	
基本方針5 教育DXを含めた安全・安心で充実した教育活動を行うための基盤整備の推進	基本方針5	11 安全・安心な教育環境の整備	29 学校施設及び生涯学習施設の長寿命化・整備 30 デジタル基盤の強化	「子供と向き合う時間が確保されている」において「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した教職員の割合（※5）	小学校 80.0%	中学校 80.0%	
				学校施設長寿命化計画に基づく着手校数	16校		

（※1）「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」において「よく当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合の平均値
（※2）「全国学力・学習状況調査」学校質問紙（※3）「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙（※4）「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」児童生徒質問紙
（※5）学校教育レベルアッププランアンケート